Disney FILES MAGAZINE ハイライト

ミッキーマウスのように永遠に子どものままで

テリー・シュルツ

ディズニー・バケーション・クラブ、アドベンチャー・バイ・ディズニーおよびゴールデン・オーク
シニア・バイス・プレジデント兼ゼネラル・マネージャー

もしもあなたが幸運にもミッキーマウスだったなら、90歳になっても若いままでいられるでしょう。確かに、ウォルト・ディズニーの分身ともいえるミッキーも白黒からカラーになり、パイのような形だった目はまんまるの瞳に変わり、最近では2つもサイズが上のズボンを履くようになるなど、幾つかの変化がありました。それでもやはり、今でも音楽に合わせて蒸気船を操船していた頃と変わらずに若いままです。

アニメのキャラクターでない私達は、残念ながらミッキーマウスの年をとらない魔法を使うことはできません。しかし幸運にもディズニー・バケーション・クラブのメンバーである皆さんなら、すでに若き日の何も心配のいらない自由気ままな気分を味わっていただいているでしょう。

新しい仕事に就いて以来、たくさんのやりがいや喜びを感じる毎日ですが、中でも一番嬉しかったのは、メンバーの皆様から毎日のように届く手紙や写真に目を通す機会が増えたことです。お子さんが初めてミッキーマウスに会った時の写真、おじいちゃんとおばあちゃんがスプラッシュマウンテンに初めて乗ったときの写真など、メンバーの皆様が寄せてくださる心に残る一瞬、記念すべき日の思い出を楽しく拝見させていただいていると、何年経ってもマジカルであり続けるなら、子供心のままでいられるのかもしれないと思い起こさせられます。

私の一番のお気に入りの写真は、数年間（またはもっと長い間かもしれません）の思い出のいっぱい詰まった時間を隔てて撮られた2枚の家族写真で、成長していくご家族の姿と同時に、いつものお気に入りの場所やポーズが変わらない家族のバケーションの慣習を写し出してくれます。そのような恒例の慣習こそ、メンバーシップがもたらしてくれる本当の「マジック」と言えるでしょう。

台所の食器棚の扉につけた子供の背丈の目印が、ディズニー・オールド・キーウェスト・リゾートの灯台に変わったとしても、それは年齢とともに場所が変わったに過ぎません。けれども下の1997年にコリンくんが赤ちゃんのときに撮った写真（イリノイ州に住むご両親は1996年以来のメンバーです）と今年初めに撮った同じような家族写真を並べて見てみると、大きくなっておそらく大学も卒業している年齢になっていながらも、子供の時代を卒業させられることなく未だに童心のままバケーションを楽しんでいる彼の姿を見ることができるのです。

これこそが、ディズニー・バケーション・クラブが目指しているものなのです。このような体験を求めてメンバーの皆様は大事な家族の恒例のバケーションを私どもに任せてくださるのですし、私共がこの仕事に携わることができて本当に幸運だと思えるのはこのような体験のお手伝いができるからなのです。私がこのマジカルなコミュニティを率いる責任を引き受けたときに、再び子供時代に戻ったような喜びを感じられたのもそのためなのです。今ならきっと「ミッキーマウスの気持ち」に少し近づけたかもしれませんね。

「日本語要約版」をご利用いただいているメンバーの皆さまへ：

ディズニー・ファイル・マガジンの次号（2018年冬号）より、マガジンの内容のほとんどを日本語でお読みいただける「日本語デジタル版」が登場します！英語の紙版マガジンはこれまでどおり郵送され、日本語デジタル版マガジンは日本語メンバー・ウェブサイトでご覧いただけるようになります。これにより「日本語要約版」を終了させていただきますので何卒ご了承ください。

本誌並びに日本語要約版でご紹介する幾つかの要素はメンバーシップ・エクストラの一部であり、付随的特典です。

これらの特典は使用状況に応じてのご提供となり、変更や終了される場合、また別途料金がかかる場合があります。購入者がメンバーシップ・エクストラを受けるためには、有効なディズニー・バケーション・クラブのメンバーシップ・カードと写真付きの有効な身分証明書を提示する必要があります。メンバーシップ・エクストラは、対象となる不動産所有権をお持ちの場合にご利用いただけます。
詳しくはhttp://www.disneyvacationclub.com/jpmemextraspolicyをご覧ください。

·Pages 3-6：「ミッキーマウスの肖像画」にまつわるエピソード／ティム・オデイ

40年間に渡ってディズニーでのさまざまな仕事に携わってきたおかげで、たくさんの素晴らしい経験をすることができました。その中のひとつは、今年のミッキーマウスの誕生日のお祝いと直接つながりができ、さらにディズニーの有名なイマジニア、ジョン・ヘンチとも深いかかわりができたのです。

·Page 7-8：ミッキーマウスにまつわるあれこれ／ジム・コーキス

ミッキーマウスがまたひとつ記念すべき誕生日を迎えるにあたり、この「笑いをもたらすために作られた小さなキャラクター」にまつわるトリビア、そして多くの著名人やレジェンド、そしてリーダー達がミッキーマウスについて語った言葉の中から私のお気に入りのものをご紹介いたします。

·Page 9-10：クラーク・スペンサー独占インタビュー

2012年のアカデミー賞ノミネート作品で、ゲームの世界を舞台にしたアニメ映画『シュガー・ラッシュ』の続編『シュガー・ラッシュ:オンライン』がこの秋登場します。ゲームセンターを離れた今回の舞台はインターネット。未知の広大でスリリングなインターネットの世界でラルフが再び冒険を繰り広げます。監督したのはリッチ・ムーアとフィル・ジョンスソン、プロデューサーはクラーク・スペンサーです。ディズニー・ファイル・マガジンの編集者のライアン・マーチが、カリフォルニア州バーバンクにあるウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオを訪れているクラーク・スペンサーをお邪魔して、このアカデミー賞受賞のプロデューサーからお話を伺いました。その中でクラークはロサンゼルスの真ん中でインターネットの世界の中心を発見したことや、イリノイ州のオークション会場に面白そうなヒントを探しに行ったエピソードを紹介しています。インタビュー後編はディズニー・ファイル・マガジン冬季号でお楽しみになれます。『シュガー・ラッシュ:オンライン』は11月21日に全米の劇場にて公開予定です（日本では2018年12月21日（金）公開）

·Pages 11：ディズニー・コミュニティからのニュース

ディズニー・オールド・キーウェスト・リゾート：ディズニー・バケーション・クラブのリゾートの初期にはかつての「古き良き」キーウェストにインスピレーションを得たことがあったかもしれません。けれどもヴィラで行われている改装工事（数年に渡る改修プロジェクトは、今号のディズニー・ファイル・マガジンが発行される頃にはようやくその半分を終える予定です）のお蔭で、リゾートはまったく新しい場所に生まれ変わったようです。

·Page12：注目のイベント

disneyvacationclub.com のコミュニティ・カレンダーでは、予定されている様々なメンバーの交流会、お祝いや各種の特別イベントの情報*がすべて網羅されていますが、ディズニー・ファイル・マガジンではその中から特に大事な予定を幾つかご紹介します。*コンドミニアム組合総会を除き、ここに挙げられているイベントは「メンバーシップ・エクストラ」特典とされており、参加資格には制限があります。詳しくは1ページ下欄に記載のご利用についての大事なお知らせをご覧ください。

·Page 13：メンバーシップ・エクストラ

ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート：資格のあるメンバー*であればどなたでも申し込める有料のワークショップ（つまり、リユニオン・ステーション・ラウンジのアクセスをバケーションプランに追加していなくても申し込めるワークショップです）に新たに「ケーキデコレーション・ワークショップ」が登場しました。ちゃんと食べられるグルテン・フリーのケーキを使って本格的なデコレーションを学ぶことのできる、パティシェを夢見るお菓子作り愛好家にはピッタリのワークショップです。

ケーキデコレーション・ワークショップには、お一人様65ドル（税金、チップが含まれています）の参加費がかかりますが、それ以外のワークショップはお一人様40ドルよりご参加いただけます。バケーション滞在中にご利用可能なリユニオン・ステーション・ワークショップについてのより詳しいお問い合わせ・ご予約はメンバー・サービスまでお電話ください。

·Pages 14：さらに充実したメンバーシップ・マジック特典の数々がオアフにやって来ました

アウラニ・ディズニー・リゾート&スパ コオリナ・ハワイ：アウラニのすべてのゲストがご利用になれるエクスペリエンスのディスカウント、さらにメンバーの皆様のためにご用意した特別なエクスペリエンスなど新しいメンバーシップ・マジックの数々が波のようにオアフの海岸に押し寄せてきました。パラダイスのようなこのリゾートで新たにご利用いただける特典*を幾つかご紹介しましょう。

ウォーターフロント・ダイニング：ハワイ料理レストラン「アマアマ」では、メンバーの皆様にはランチを10%オフ（アルコール、税金、チップは含まれていません）でご提供、さらにディナーをご利用の方にはお食事の後に特別ギフトを進呈します。

インタラクティブ・アート・エクスペリエンス：「オハナ・ペインティング・パーティー」や「キャンバス&カクテル」、また「カパラ・キイ-Tシャツ・スタンピング」など厳選されたインタラクティブ・アート・エクスペリエンスを10%オフでご利用いただけます。「オハナ・ペインティング・パーティー」または「キャンバス&カクテル」のご予約は（808）674-6200までお電話ください。「カパラ・キイ-Tシャツ・スタンピング」のご予約については、イベント当日にリゾート内のパウ・ハナ・ルームにて午前8時より直接キャストまでお申し込みください。

キャラクター・グリーティング：メンバーの皆様対象に無料で1時間行われるキャラクター・グリーティングは、特定日に通常リゾート内のルアナ・ラウンジ（パウ・ハナ・ルーム隣）にて開催されます。ご予約は不要です。

一日の最高のスタート：多くのご家族にとって、アウラニの朝はカウェレ・コーナー・エルア（カ・マカ・プールそば）を訪れることから始まるでしょう。ここではプール利用のためのリストバンドやタオル、ライフジャケットを受け取ることができます。カウェレ・コーナー・エルアは毎朝8時にオープンしますが、オープンから1時間の間メンバー専用の受付窓口が設置され、優先サービスをご利用いただけます。有効なメンバーシップ・カード（実物またはデジタルのいずれでも可）とアウラニのルームカードキーをご提示ください。

·Page 17：コミュニティ・キッチン

ディズニー・スプリングス、ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート：今年の終わりまでに多くの新しいレストランがディズニー・スプリングスに仲間入りする予定ですが、そのひとつがシェフ、ホゼ・アンドレによる「ハレオ」です。米国におけるスパニッシュ・タパス（小皿料理）の創始者で、タイム誌にて「最も影響力のある100人」にも選ばれています。

·Page 18：ディズニー・レシピ

ミッキーマウス風マカロニチーズ：若かりし日のウォルト・ディズニーが真夜中に仕事場を走り廻るネズミに、夜食のサンドイッチのチーズのかけらをあげたという、深夜のカンザス・シティでのエピソードにヒントを得てできたといわれるこのシンプルな料理は、のちにウォルトのハリウッドにある家の食卓の常連となったのでした。

·Pages 19-20：ネイバーフッド・ニュース

ミッキーのテイルズ・オブ・アドベンチャー：ディズニー・グランド・カリフォルニアン・ホテル&スパのストーリーテラー・カフェでは、メンバーとそのゲストの皆様はミッキーマウスとその仲間たちと一緒にミッキーのテイルズ・オブ・アドベンチャーにご参加いただけます。また、ちょっと足を伸ばしてディズニー・パラダイス・ピア・ホテルまで歩けば、ディズニーPCHグリルでドナルド、デイジー、そしてスティッチがやってくる「ドナルドダックのシーサイド・ブレックファスト」ビュッフェを楽しむこともできます。キャラクター・ダイニングのご予約は、メンバー・サービスまで。

ダービー・ダッシュを走ってみませんか：ディズニー・サラトガ・スプリングス・リゾートにて毎週開催されているダービー・ダッシュ・ランは、健康や歴史そして馬といったリゾートにとって大切なテーマにのっとったイベントで、レベルに関係なくどなたでも気軽に参加できる2.3kmのマラソンです。参加ランナーには完走記念のメダルが贈られます。参加費または開催日時の詳細についてはリゾート内のコミュニティー・ホール（407）827-4589 まで電話でお問い合わせください。

デジタル・キー：今号のディズニー・ファイル・マガジンが発送される頃までには、ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートのすべてのディズニー・バケーション・クラブ・リゾートでデジタル・キーによるアクセスが可能になる予定です。

ピクシー・ダストにご注意：ディズニー・アニマルキングダム・ロッジのジャンボ・ハウスそばにあるウジマ・スプリングス・プールはこの秋改修のために閉鎖されますが（このエリアは12月に再オープンの予定です）、近くのキダニ・ビレッジのサマワティ・スプリングス・プールは引き続きオープンしています。

·Pages 21-22：ディズニー・デスティネーション

東京ディズニーリゾート®：2022年度、ディズニー映画『アナと雪の女王』『塔の上のラプンツェル』そして『ピーター・パン』の世界が、かつてないほどの規模で東京ディズニーシー®に生まれます。東京ディズニーシー史上最大規模となるこの拡張プロジェクトによって、「海にまつわる物語や伝説」をテーマとする大人気のこのパークに8番目のテーマポートができることになります。この新しいテーマポートの名前は未定ですが、「魔法の泉が導くディズニーファンタジーの世界」をテーマとし、4つの新しいアトラクションが新設される予定です。さらに新テーマポートストーリーの核となる魔法の泉を囲むように475客室を有するホテルが新たに建設されます。このホテルは2つのレストラン、そして商品店舗を備え、東京ディズニーリゾート内のホテルの中でも最もラグジュアリーなホテルとなる予定です。

·Pages 23-24：耳寄り情報

ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート：フロリダで初のクラブ33が次々とオープンしています：ディズニー・ハリウッド・スタジオ内のスポットライト・ラウンジとエプコット内のコンステレーション・クラブがオープンしました。さらにマジックキングダム・パーク内にはキャプテン・クォーター、続いてディズニー・アニマルキングダム・テーマパークにはハランベ・ハウスが新たにオープンする予定です。

香港ディズニーランド・リゾート：ジャングル・ジャンクションは香港ディズニーランド・パークのアドベンチャーランドに新しくできた太平洋の島々をテーマにしたアウトドア・エンターテインメント施設ですが、そこに「モアナ:ホームカミング・セレブレーション」がやって来ました。アカデミー賞にもノミネートされたウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオによる映画『モアナと伝説の海』をテーマにした20分間の素晴らしいステージショーは、視覚効果を駆使したストーリーテリング、ダンス、人形劇、そして音楽を使って主人公モアナと伝説の英雄マウイの大冒険の物語を観客に見せてくれます。香港ディズニーランド・リゾートでのバケーションをご予約の際は、現在実施中の期間限定特典*についてメンバー・サービスまでお問い合わせください。メンバー様は2019年3月29日までの期間中、香港ディズニーランド・リゾートの3つのホテルにて2泊分の料金で3連泊できる特典**をご利用いただけます。

**本特典のご利用には条件があります。詳細はDVCMember.jpをご覧ください。

·Pages 25-28：ディズニーの遺産

ディズニー・ファイル・マガジンでは、光栄にも伝説的な映画監督ドン・ハーン（『美女と野獣』『ライオン・キング』）を寄稿コラムニストとしてお迎えし、その洞察にあふれるお話を伺う機会を得ました。ドン監督はちょうどサンフランシスコにあるウォルト・ディズニー・ファミリー・ミュージアムにて2019年1月7日まで開催される特別展 “Walt Disney’s Nine Old Men: Masters of Animation”を手がけたところです。ディズニー・ファイル・マガジンで2回目の連載となるこのコラムでは、これら9人の素晴らしいアーティストの生涯とその作品について語っていただきました。

*表面下欄に記載のご利用・参加資格についての大事なお知らせをご覧ください。

●ディズニー・ファイル・マガジンの日本語要約版をおたのしみいただいていますか?日本語メンバー・ウェブサイトでもご覧になれます。「マイDVCメンバーシップ」から「ディズニー・ファイル・マガジン」の▶2018の▶をクリックしてください。大切な情報を確実にお受け取りいただくため、DVCMember.jp（日本語メンバー・ウェブサイト）/DisneyVacationClub.com（英語）を定期的にご覧いただきますと同時にメールアドレスのご登録をお願い申し上げます。尚、メンバーは同じログイン情報で日本語メンバー・ウェブサイトDVCMember.jpと英語のDisneyVacationClub.com両方のご利用が可能です。

ディズニー・バケーション・クラブ ジャパン・メンバー・サービス
·日本国内からフリーダイヤル:0120-98-4050　·日本以外の国（米国など）からの有料番号:+1-321-939-4411
·営業時間:火曜日～日曜日　9AM～5PM（日本時間）　·お支払いに関する受付時間は9AM～3PMまでとなります。
※メンバーサービスにご連絡の際には、12桁のメンバーID番号をご準備の上、ご連絡ください。日本語メンバー・ウェブサイト:www. DVCMember.jp

ⓒ Disney